



豊中

保護司会報



千里川堤防

目次

巻頭によせて …………… 1	コロナ禍での保護司活動の記録 アンケート結果報告 … 7
観察所だより …………… 3	定例研修会報告・サポートセンターだより … 11
栄誉の方々 …………… 4	わたしの観察日記 …………… 12
令和2年度 各種表彰受賞お祝い会 … 5	保護司会この一年 …………… 13
令和2年度 大阪更生保護大会 … 6	会員の異動・編集後記 …………… 14

第81号

コロナ禍特集

令和3年3月31日

■発行■
豊中地区保護司会

■編集■
広報部

巻頭によせて



豊中地区保護司会
会長 辻 由郎

早春の候、豊中地区保護司会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。会員の皆様には、コロナ禍での保護司会の事業運営と活動に、ご理解とご協力をいただき心からお礼を申し上げます。また、豊中市をはじめ大阪保護観察所・更生保護団体の皆様のご理解とご支援に對し心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、当初「今年こそ、自然災害のない平穏な年であってほしい」という願いも叶わず、想像もしなかった「新型コロナウイルス感染症拡大」で、一年中振り回されるという恐ろしく不安な年でありました。豊中地区保護司会として、“総会・研修会・式典等をどのように開催すればいいのか” “令和2年大阪更生保護大会の開催地である豊中地区として、その役割をどのように果たせばいいのか” “更生保護活動中、保護司・対象者・引受人等が感染しないか、どのようにすれば感染防止が出来るのか” “「社会を明るくする運動」での作文募集・各小中学校との連携強化”等々について、本当に苦悩した一年でありました。残念なことに、いまだ新型コロナウイルス感染症拡大は続き収束しておらず、政府は再び令和3年1月に緊急事態宣言を発出いたしました。

このような状況の中、令和3年度豊中地区保護司会の目指すべき取組方針は、以下のとおりです。

- ① 常に更生保護への理解者・協力者を増やすための発信活動と保護司適任者の確保
- ② 大阪保護観察所・豊中市・更生保護団体等との連携強化
- ③ 人格識見の向上に努める
- ④ 犯罪の被害者やその家族の心情と現状を正しく知って正しく理解する

昨年、実施出来なかった同じ内容の取り組みになりますが、精一杯努めて参ります。

結びに、一日も早くおだやかな日常生活に戻って欲しいと願い、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。





巻頭によせて



豊中市長 長内 繁樹

陽春の候、豊中地区保護司会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、豊中市政へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、豊中地区保護司会創設70周年を迎えられ、貴会の永年にわたる更生保護へのご貢献に心より感謝申し上げます。貴会をはじめ、更生保護に関わる方々の社会奉仕精神や思いやりに満ちたご努力もあり、刑法犯の認知件数は戦後最少を更新しています。しかし、若年者を中心に大麻取締法違反の検挙人員が急増しており、犯罪や非行を防止する観点から、子どもたちを見守る地域の輪が欠かせません。

この一年、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのような対面での地域活動ができなくなっています。しかし、このような時期だからこそ、より一層の地域のつながりが求められています。保護司の皆様には、これまで築いてこられた地域の輪を途絶えさせることなく、多様な機関・団体との連携を深めていただいております。深く敬意を表します。引き続き地域共生社会の担い手として、皆様のお力添えをお願いいたします。

本市におきましては、引き続き、地域を主体とした豊中らしいまちづくりをすすめ、「安全安心・健康先進都市とよなか」の実現に向け、貴会をはじめ、関係団体と連携をとりながら、犯罪を生み出さない地域づくりに、全力で取り組んでまいります。皆様には、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、豊中地区保護司会の今後ますますのご発展と、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。巻頭のあいさつといたします。





観 察 所 だ よ り



大阪保護観察所
所 長 鈴木 庄市



大阪保護観察所
保護観察官 下村美和子

～令和2年度を振り返って～

豊中地区保護司会の皆様には、平素から更生保護の活動に対して格別なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、豊中地区の更生保護活動に当たっては、保護司会のみならず、関係機関・団体の皆様からも多大なるお力添えを賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和2年度を振り返りますと、未知の感染症が世界中にまん延し、4月には緊急事態宣言が発出されたほか、同宣言解除後も日常生活の多くの場面でマスクの着用が求められる等、これまで誰も経験したことがない「新たな日常」が始まりました。更生保護活動におきましても保護観察対象者等との面接の機会が奪われたほか、保護司会の各種会議や研修も中止を余儀なくされたところ です。

一方、このような状況を乗り越えるため、更生保護の活動においても「新たな日常」に対応する様々な試みが始まりました。保護観察においては対面による接触以外の方法が工夫され、各種会議や研修では、いわゆる「三密」を回避するために、文字や音声・動画により必要な情報を個別に配信する等の方法が工夫される等、従来の更生保護活動の在り方について抜本的な見直しが進められています。

大阪保護観察所といたしましても、刻々と変化する社会状況を見据え、豊中地区保護司会の皆様とともに「新たな日常」における更生保護の在り方を模索してまいりたいと思いますので、倍旧の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

保護司のみなさま、関係機関・団体のみなさまには、平素から更生保護事業にご尽力いただき、誠にありがとうございます。また、保護司会事務局を始め豊中市職員のみなさまには日頃からたいへんお世話になり、厚くお礼申し上げます。

令和2年は新型コロナウイルス感染症に日本国中が多面で様々な影響を受けた年であり、更生保護においても例外ではありませんでした。保護司会総会、定例研修会をはじめとする会合が軒並み中止となり、処遇の中心と言うべき対面による面接の実施が困難となりました。報道もコロナ一色と言うような毎日でありましたが、ここではあえて、コロナ以外のことをお話ししたいと思います。

面接者の姿勢が及ぼす効果についてです。学校の教師が、生徒の成績が良くなると思って指導していると実際に成績が向上する現象を「ピグマリオン効果」と言い、逆に、どうせダメだろうと思って関わると、生徒の成績は低下する現象を「ゴーレム効果」と呼びます。これは、アメリカの心理学者ローゼンタールが行った実験をもとに唱えられるようになったものです。この説に否定的な意見もありますが、実際、私たち更生に携わる者が、どのような眼差しで向き合い、指導しているのか、対象者は感じ取るものです。

心から信じてくれる人が傍にいと、何だか変われるような、できるような気がしてくるものです。そのような、人からの期待感を感じることで責任感や、やる気を生み出す効果は、面接者と対象者の間での信頼し、信頼される人間関係の中でこそ生まれるものだと思います。

最後になりましたが、みなさまのご健康を心からお祈り申し上げます。



令和2年度 瑞宝双光章・藍綬褒章及び 各種表彰受賞者へのコロナ禍での記念品贈呈式

日時： 令和2年（2020年）11月25日（水）午後1時～
場所： 豊中市立文化芸術センター 多目的室
参加者： 来賓及び保護司 65名



記念品贈呈式



藍綬褒章



瑞宝双光章



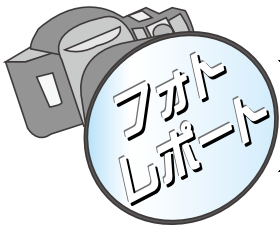
法務大臣表彰



全国保護司連盟理事長表彰



会場風景



令和2年度 大阪更生保護大会

日時： 令和2年（2020年）10月29日（木）午後1時～
場所： 豊中市立文化芸術センター 大ホール
参加者： 来賓4名、保護司173名



コロナ禍のため、ソーシャルディスタンスを保った上で行われた



法務大臣表彰 代表 友國保護司



法務大臣表彰者の皆さん



受付の様子



豊中からの参加者

コロナ禍での保護司活動の記録 アンケート結果報告

広報部 有ヶ谷 一郎

令和2年（2020年）は未曾有の新型コロナウイルス感染に振り回された年でした。

現在もコロナ禍は進行中ですが、保護司活動は続けなければなりません。

保護観察所からは、面接の自粛や電話による聞き取りへの移行を指示されましたが、コロナ禍で私たち保護司はどのように活動したのか、また、どのような工夫の下に保護観察や生活環境調整などを行ったのかを把握すべく、広報部ではアンケート調査を実施しました。

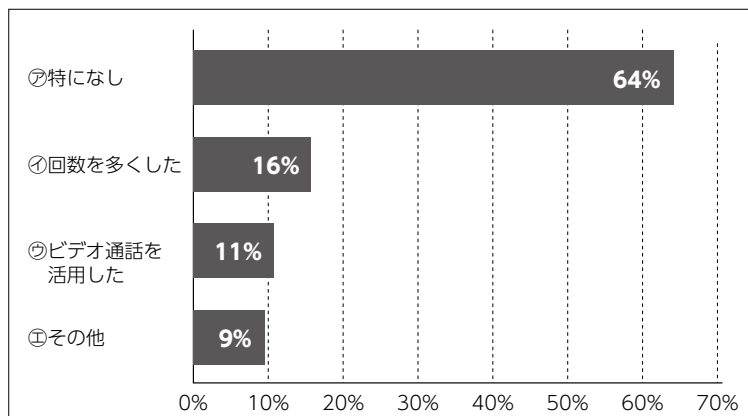
更に地域活動が制約される中で、特に小中学校との連携についても併せてお聞きしました。

その概要を報告します。

新型コロナウイルス感染症対策下の保護司活動についてのアンケート

- 保護観察、環境調整に関してお聞きします。
 - 電話による聞き取りについて、何か工夫をしたことはありますか？
 - ㊲特になし
 - ㊱回数を多くした
 - ㊴ビデオ通話を活用した
 - ㊳その他
 - 保護観察や環境調整において、面接ができなかったことで、困ったことや感じたことはありますか？
 - その他、保護観察や環境調整について、工夫をしたことはありますか？
- 小中学校への寄贈品についてお聞きします。
 - 何を寄贈しましたか？
学校名（ ） 寄贈品（ ）
 - 寄贈した時の学校の反応は？
- コロナ対策下での保護司としての活動について自由にお書きください。

電話による聞き取りについて、何か工夫をしたことはありますか？（質問1(1)）



原則的にはこれまでの面接姿勢に変更はなかったとの回答は、回答者中64%でした。何らかの工夫をしたとの回答は、電話による聞き取り回数の増加（回答者中16%）、LINEやメール、ビデオ通話などによるコンタクトを多用した（同11%）との意見がありました。

対象者等との面接で困ったことはありましたか？(質問1(2))

感染防止の観点から面接が一定程度制限されました。

そのような中での主な意見は、「(電話では)相手の表情が見えず話が届いているのか確認できなかった」また対象者の「健康状態や日常生活の充実感なども知ることができない」「会話が一方的になる」と電話聞き取りの限界を感じている保護司もいました。

また、対象者の目の動きや顔の表情から面接では気付いたであろう声のトーンすら読みとれず「再犯を見抜けなかった」と深刻な経験をされた保護司もいました。

保護司活動の1丁目1番地である「直接面接の重要性」を実感した保護司が多かったようです。

ではどんな工夫で乗り越えましたか？(質問1(3))

「電話やメールでの接触の頻度を多くした」、「LINEを利用し映像面接を実施した」「自宅の縁側でソーシャルディスタンスを取りながら面接を行った」「来訪時面接は自宅の離れの部屋を利用」など様々な工夫策が報告されました。

今後の面接方式の一つとして、リモート方式の面接も選択肢となり得るように感じたところです。



小中学校に対する物品等の支援は？(質問2)

小中学校側との関係構築を維持するため、保護司会から「コロナ対策のための物品等の支援」を実施しました。(具体的な支援内容は10ページのとおりです)

概ね、小中学校側からは評価をいただきました。

主な小中学校側の反応は

「さっそく支援内容を学校のホームページに掲載しました」

喜んではいたが、「前例のないことで少し驚かれた雰囲気があった」

「経済的に余裕がないため助かった」

「子ども用マスクに保健室の先生から感謝された」

との声が届いています。



コロナ禍での保護司活動で気付きは何かありましたか？（質問3）

悲観的な意見としては、

「五里霧中、暗中模索の活動」

「これだけ自粛や中止が続いているため、今までの保護司活動や地域ボランティア活動は何だったのか考えこんだ」

「顔を合わせる活動が減り、冷たい人間関係になりそうで気に入らない」

「当たり前の日常面接の大切さを痛感」

「つながりを持つのが保護司の仕事なのに、つながりを持たない世界は非常に難しい」など、コロナ禍での新たな気付きがあったようです。

一方で、ポジティブな意見もありました。

「感染対策を徹底すれば通常どおりの対応は可能なのではないか」

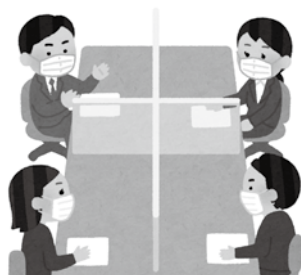
「LINEでの電話やメールを多用すれば新たな手法での保護観察はできるのでは」

「ZOOM等インターネット会議や研修が出来れば良いと感じた」

「学校との情報交換・状況把握のため『あいさつ運動』には参加した」

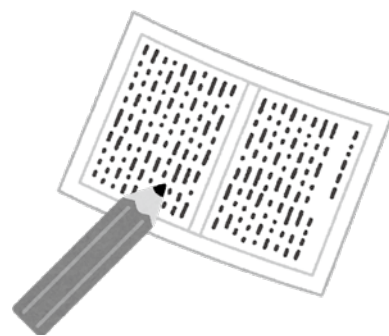
「感染対策を徹底した上で少なくとも対話集会は実施すべき」

との前向きに、どうしたら行えるかを考えた意見もありました。



小中学校との付き合いは？

令和2年度（2020年度）は“社会を明るくする運動”関連の行事を取りやめ、小中学校の作文募集も中止しました。作文募集中止に関して、学校休業措置に伴うカリキュラム消化のため「正直、ほっとした」（ある学校関係者）との意見もあったようですが、他方で「社明運動での学校との連携が減ったけれど、寄贈品の取組みで学校と繋がっていることを感じた」と話す保護司もいました。



おわりに

令和2年（2020年）は間違いなく歴史に残る年になると思います。現在進行形で益々苦悩が続くとは思いますが、これまでの経験や知見を駆使して乗り越えていかなければなりません。

そのための議論の一助になればと思い本稿を企画しました。

最後に、ある保護司の意見を引用します。

「保護司間の交流の機会や情報交換が減り残念でした。コロナ収束を願ってやみません。」

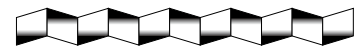
小中学校への物品等の支援一覧

	学校名	品目
1 ブ ロ ック	一中	マスクなど
	四中(含夜間)	蛇口ユニット・ホースジョイント
	五中	経口補水液
	克明小	除菌ウエットティッシュ
	豊島北小	トイレクリーナー
	豊島小	ラミネートフィルムなど
	豊島西小	色上質紙
	中豊島小	児童用マスク
	原田小	アルコール消毒液
	箕輪小	アルコール消毒液など
	緑地小	児童用マスク
	2 ブ ロ ック	二中
八中		非接触式体温計など
九中		中庭改造資金
十四中		図書券
十五中		ハンドソープ・アルコール消毒液
熊野田小		ハンドソープ・アルコール消毒液
十七中		非接触式体温計
北丘小		アルコール消毒液
北緑丘小		洗剤・消毒液・手袋
泉丘小		児童用マスク
桜井谷小		児童用マスク
桜井谷東小		液体石けん・アルコール消毒液
新田小		薬用石けん・養生テープ
新田南小		除菌シートなど
東豊台小		マスク
西丘小		ポリエチレン手袋
野畑小		図書券
東泉丘小		児童用マスク
東丘小		ポリエチレン手袋
南丘小		アルコール消毒ティッシュ

	学校名	品目
3 ブ ロ ック	三中	スポーツドリンク
	十一中	レモン石けん・消毒液
	十三中	ウエットティッシュ
	十八中	ティーボール
	桜塚小	児童用マスク
	上野小	折り紙
	南桜塚小	お茶など
	少路小	アルコール消毒液
	東豊中小	ポリエチレン手袋・スポーツドリンク
	大池小	水
	刀根山小	水
	蛭池小	アルコール消毒液
	4 ブ ロ ック	庄内さくら学園中
七中		コロナ対策用品
島田小		マスク
庄内小		児童用半紙
庄内西小		コロナ対策用金具
庄内南小		トイレ消毒・洗浄用クリーナー
千成小		アルコール消毒液
野田小		児童用半紙
5 ブ ロ ック		十二中
	十六中	フェイスガード
	高川小	非接触式体温計
	小曾根小	除菌グッズ
	豊南小	児童用マスク
	寺内小	ポリエチレン手袋
	北条小	アルコール消毒液・マスク



定例研修会報告



研修部 堂本 良典

第1期統一研修 「転居・旅行について」

令和2年6月

改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が4月7日（火）から5月21日（木）まで発出されたため、令和3年2月に延期となりました。

第2期統一研修 「保護観察・生活環境調整の実施について」

令和2年9月

～新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した処遇方法～

新型コロナウイルス感染拡大のため自習になりました。

第3期統一研修 「生活環境の調整について」

令和2年11月25日（水）

基本を踏まえた上で、刑の一部執行猶予制度をはじめ、新しい制度や施策について確認することを目的とされました。コロナ禍において感染症拡大防止の観点から、グループ討議等は控える事となり、下村主任保護観察官の講義形式による研修を行いました。

①何をするのか？引受人、帰住予定地、引受意思について

②どんなことに役立つのか？矯正施設収容者の社会復帰、家族・引受人等の問題解決について

第4期統一研修 「令和3年1月からアセスメントに基づく保護観察が始まります」

令和3年3月17日（水）

一層効果的な処遇を実施するため、法務省はアセスメント（調査・見立て）のためのツールCFPを開発し、令和3年1月より導入することとなりました。「犯罪又は非行に結びつく要因（問題）」や「改善更生を促進する要因（強み）」を把握しやすいよう保護観察経過報告書（甲）が新様式になり、記載について解説がありました。

なお、第1期に予定されていた「転居・旅行について」は自習となりました。（資料のみ）

サポートセンターだより



サポセン豊中は、「緊急事態宣言」の発出を受け、4月8日から7月26日までを臨時休館としました。その間、幹部により再開時期や再開に向けての感染防止対策が検討されました。7月27日からはサポセン当番が在室することになりました。

○サポセン豊中での感染対策

除菌グッズによる手指や室内の消毒

来館者がある時・・・マスクの着用／定期的な換気／身体的距離の確保／来館者名の明記

他にも、面接室にアクリルパーテーションを設置するなど感染予防に努めています。

○来館者の主な使用例

対象者面接・常任理事の打合せ・更生保護相談・会計事務・更生保護協会の会議・関係団体との協議などで利用されています。



保護司会この一年



令和2年

- 4月 6日 臨時理事会
- 13日 会計監査
- 14日 理事会（書面）
- 5月 11日 拡大常任理事会
保護司推薦委員会
- 12日 理事会（書面）
- 14日 大阪府保護司会連合会常任理事会・
理事会（書面）
地区保護司会代表者会議（書面）
- 18日 総会（書面）
- 6月 9日 理事会（書面）
- 10日 拡大常任理事会
- 12日 “社会を明るくする運動”
豊中地区社明実施委員会（書面）
定例会 2月に延期
- 7月 14日 常任理事会
- 20日 理事会
サポートセンター定例会
- 8月 6日 常任理事会・理事会
ブロック委員会
- 9月 定例会
第2期統一研修（自習）
「保護観察・生活環境調整の実施について
～新型コロナウイルス感染拡大防止に
配慮した処遇方法～」
- 3日 大阪府保護司会連合会常任理事会・理事会
地区保護司会代表者会議
- 8日 ブロック委員会
保護司推薦委員会
理事会（書面）
- 9日 北摂ブロック保護司会会長会議
- 14日 広報部会
- 30日 新任保護司辞令伝達
- 10月 6日 北摂ブロック保護司会会長会議
- 13日 常任理事会・理事会
- 21日 新任保護司研修（前期・後期）
- 26日 常任理事会
- 29日 大阪更生保護大会（豊中市立文化芸術センター）

- 11月 10日 常任理事会・理事会
- 11日 新任保護司研修（前期・後期）
- 25日 令和2年 瑞宝双光章・藍綬褒章及び各種表
彰受賞者へのコロナ禍での記念品贈呈式
定例会
第3期統一研修
「生活環境の調整について」
新任保護司研修（前期・後期）
- 12月 8日 新任保護司研修（前期・後期）
- 14日 常任理事会
- 令和3年
- 1月 14日 大阪府保護司会連合会常任理事会・理事会（書面）
地区保護司会代表者会議（書面）
- 15日 常任理事会・理事会
会長推薦委員会
- 25日 広報部会
- 27日 常任理事会
- 2月 定例会
第1期統一研修（延期分を自習に変更）
「転居・旅行について」
- 9日 常任理事会・理事会
- 17日 広報部会
- 3月 2日 常任理事会
広報部会
- 5日 更生保護団体連携委員会
- 9日 北摂ブロック保護司会会長会議
- 11日 大阪府保護司会連合会常任理事会・理事会
地区保護司会代表者会議
- 12日 作文審査委員会
- 15日 常任理事会
- 17日 理事会
定例会 第4期統一研修
「アセスメントに基づく保護観察について」
- 24日 広報部会



三密に気をつけて、マスク姿で議論する理事会の様子

中止・延期された主な行事

- ・ “社会を明るくする運動” 関連行事
作文募集・駅頭啓発活動、市民のつどい、
対話集会など
- ・ 自主研修会
- ・ 日帰り研修会
- ・ 保護司会、更生保護女性会、BBS会交流会
- ・ 豊中、箕面、吹田三市交流会
- ・ 70周年記念式典（来年度以降に延期）
- ・ サポートセンター休館（4月8日～7月26日）
- ・ サポセン（企画調整保護司）定例会 中止

編集後記

令和2年度は、前年度から流行した新型コロナウイルス感染症が世界規模で広がりを見せ、日本では2度の緊急事態宣言の発出という異例の事態となりました。このため、豊中地区保護司会の行事もほとんどが中止もしくは延期になり、保護観察においても面談ではなく電話での聞き取りなどの間接的な手段で行うよう保護観察所からの要請もありました。

広報部ではこのような異例づくめの年に会報を発行するにあたり、保護司の皆さまにアンケート調査を行い、新型コロナウイルス感染症対策下での保護司活動をする際の工夫や悩みなどを特集記事として掲載しています。これらの記事がこれからの保護司活動の参考になればと願っています。

最後になりましたが、会報作成の際、写真・ご寄稿いただきました皆さま、アンケートにご協力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

広報部一同



昭和40年頃の千里川堤防（現在は地下道）